

<新入会員の声> No. 108号より

建部 光章さん

晴嵐かなざわでの健康体操教室で一緒に長谷川繁さんのご紹介で此の度入会致しました。現在「健康歩こう会」と「ふれあい囲碁倶楽部」にお世話になっております。入会を契機にかなざわ会の種々の行事に参加したいと思っております。どうぞ宜敷くお願い致します。

真島勝子さん

この度生涯現役かなざわ会に仲間入りをさせて頂きました真島勝子と申します。頭は白髪、顔は色黒、慎重派150cm、それに少しも上達しない歌のレッスンに通っています。何の取り柄のないただの老人です。

この会に入会させて頂きましたのは、世界遺産にリストアップされております、富岡製糸場見学の企画について宮原さんを通じて知り、又会報の活動カレンダー欄に「シネ・イングリッシュ」の項目が目に入り、洋画が見られるのならと思入会させて頂きました。「シネ・イングリッシュ」グループでは、お茶の時間もあり良い事と思いますが・・・私は外見は普通に見えますが、お湯のポット等少し重たい物も持てない身体なので周りの方にご迷惑をおかけして申し訳なく思っています。が、どうぞよろしく願い申し上げます。

石黒 文雄さん

このたび、「生涯現役かなざわ会」に入会させて頂くことになりました。どうぞよろしくお願ひします。代表から自己紹介を兼ねて文章を書くようにとのmailを頂きました。

久しぶりに会った友人に「いま何やっているの？」と聞かれたら、「囲GO・中国GO・日本GOのボランティアを少々」と答える。

拙文ですが、目を通していただければ幸甚です。

GO/GO/GO 石黒 文雄

定年後仕事のためウン十年振りに英語を2年間猛烈に勉強しTOEIC TESTにも挑戦したこともあったが、サラリーマンを卒業した1年後の63歳から、その余勢で中国語（北京語）の勉強を始めた。若いころから中国の歴史と漢詩に興味を持ったからである。それからもう9年になるが、どうせやるなら腰を入れて真面目にやろうと思い、週3回の中国人講師の授業に休むことなく出席し、NHKのラジオ講座を聴講している。さらにそれをデジタル機器に録音するという念の入れようである。電車に乗り込むと、携帯ゲームに熱中している若者の隣にドカッと腰をおろし、おもむろにテキストを開いてその録音を聴く。周りの視線を意識していないと言えば嘘になる。嫌な性格だと思うがチョットした快感もある。

中国語の勉強に対する姿勢と熱意は上の通りであるが、残念ながら上達速度は極めておそい。中国人に natural speed で機関銃を撃つように喋られると、頭の中が真っ白、パニック状態になる。数秒後蛍光灯的に分かって後祭り。これでは会話にならない。

話は中国語だけではない。最近日本の若者たちの話す日本語が三分の一も聞き取れない。後で単語の意味解説を聞くと成程！ではあるが、その speed に全くついていけないのだ。そこで悟った、真の原因は、勉強不足ではなく、言語一般に対するレスポンス能力が退化しているためだと。中国語の勉強を始めたのが50～60年遅かったのだ。

だが文章を書くとなると話は別だ。電子辞書という強力な助っ人があるからだ。これを駆使して、無限の時間をかければ、何とか中国語らしい文章にはなる。四字熟語辞典・漢文名言辞典などを駆使して織り込むと、見違えるほど格調の高い文章になる。これは素晴らしい？と自画自賛する。書き上げた文章のレベルはともかく、書いている時が何より楽しい。時の経つのも忘れて没頭できる至福の時間でもある。

ついでと言えばなんだが、6～7年前から、横浜中華街の近くで日本語を教えるボランティアを始めた。来日中国人の若者が対象で、生徒の大部分はうら若き女性である。怪しげな片言の北京語を混ぜて会話や文法などを教えている。彼女らは若いだけあって上達スピードは極めて速い。だから教える側もやり甲斐があり楽しい。前・後期高齢者の囲碁仲間諸兄には悪いが、彼らと碁を打つより彼女らと一緒に勉強している時間のほうが数倍楽しいし、生き甲斐を感じる。

特に私が中国語で教材をこさえて行ってプレゼンすると、その出来栄を最高級の言葉で褒めてくれる。お世辞だと分かっているが、褒められるのは幾つになってもウレシイも

のだ。特に若いお嬢さんに褒められると超ウレシイ。生きる元気と勇気が頂ける。貰ったエネルギーは1週間以上持続する。

最後に囲碁の方だが、本を買って真面目に勉強し始めてからもう40年ぐらいになる。昔勤めた会社のOBや地域の囲碁仲間と大森・新宿・横浜・杉田の例会で合わせて週3回は碁を打っている。口の悪い何人かの先輩は、「おまえの碁は筋が悪い」と言って揶揄する。理由は分かっている。私は僅差で10回勝つより、ウン十目差で1回勝つ方が楽しいからだ。これは直そうと思っても治るものではない。だから無理手を打つことが多い。これが功を奏して6段格の先輩を木端微塵にやっつけて勝ってしまうことが稀にある。彼は「筋の悪いのにやられた！」と周りに大声で言いふらす。私はにんまりと一笑し「こんなに沢山の石が取れるのは、年に何回もないことだ！」と独り言をいい、「錆びた刀で斬られ方が痛いですか？」などとジャブをいれたりする。蛇足だが、この後ワイワイ・ガヤガヤやりながら近くの蕎麦屋で飲むビールの美味はまた格別である。

以上のような具合で、私は、囲Go・中国Goの勉強、日本Go教師の3Goで、毎週6～8単位の時間割をこなしながら、多忙感のある日々を過ごしている。この多忙感こそ健康の源だと思っている。

ここで、昔読んだ「**菜根譚**」という本に書いてあったことを思い出した。

曰く「何をやってもうまくゆかず事窮まった時は**初心に還るべし**、人生すべてうまくいっている時は**その末路を見るべし**」と。この本には昔随分お世話になったものだ！

私は今、GoGoGoと結構楽しくやっているのですが、定石どおりでいくと、「**Go末路**」を考えねばならない……。だが当分これは考えないことにしている。

以上

